

特集 海外生向け 2023年 誌上大学・学校説明会

一挙10校!

Springでは、今年も「誌上大学・学校説明会」と題し、対面の説明会さながらの情報を海外で生活する受験生のご家庭へお届けします。各校の特徴あるカリキュラムや入試情報を掲載していますので、お子さまにぴったりの大学・学校を選択する一助になりましたら幸いです。

参加校一覧(掲載順)

- 海城中学高等学校
- 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
- 東京都立大学
- 関東学院六浦中学校・高等学校
- 桐朋女子中学校・高等学校
- 啓明学院中学校高等学校
- 暹子開成中学校・高等学校
- 清泉女学院中学高等学校
- 富士見丘中学校高等学校
- 立命館宇治中学校・高等学校

- オンライン説明会の日時は「日本時間」で記載されている場合が多いため、ライブ配信形式の場合は特に、「現地時間との時差」にご注意ください。
- オンライン説明会は各学校のウェブサイトでは実施方法をよくご確認ください、事前にダウンロードや各種設定を済ませてからご参加ください。

「オンライン」でもぜひチェック!

各学校では「オンライン説明会」を実施したり、臨場感あふれる「学校説明会ムービー」などを公開しています。ぜひご利用ください。Springでは、これらの情報が入り次第、ウェブサイトに掲載し、Instagramで発信しています。ぜひフォローして最新情報をお見逃しなく!

@spring.edu.magazine

「2023年
日本の中学・高校 学校説明会 日程一覧」
はこちら

オンライン説明会情報も更新中!



帰国生におすすめの
日本の中学・高校 一覧ページ
はこちら

学校情報や帰国生の体験記、
Spring関連記事に簡単アクセス!



海城中学高等学校

https://www.kaijo.edu.jp/

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1
JR山手線「新大久保」駅より徒歩5分
☎ +81-3-3209-5880
✉ admission@kaijo.edu.jp



「新しい紳士」を育てる、伝統ある進学校

創立132年を迎える進学校です。「国家社会に有為な人材の育成」という建学の精神の下、リベラルでフェアな精神を持った「新しい紳士」の育成に取り組んでいます。価値観の多様化やグローバル化が進む社会で、「新しい人間力」として重要視されるコミュニケーション能力やコラボレーションの力をPAやDEといった体験学習を通じて、また問題解決型の「新しい学力」を社会科総合学習や実験・観察に重きを置いた理科の授業などを通して積極的に養っています。

※PA:プロジェクトアドベンチャー DE:ドラマエデュケーション



あなたはあなたらしく

校長 大迫弘和



あなたには、海外生活という異文化の中で生活で手に入れた、宝物があるはず。130年の歴史を持ち常に進化してきた海城の教育は、多くの帰国生たちが切り開くそれぞれの道を大胆かつ繊細にサポートしてきました。海城で、あなたはあくまであなたらしく、帰国生としての宝物を大事にしながらか自分の道を切り開いてみませんか。

カリキュラム

帰国生と一般生が切磋琢磨しながら高め合う環境

- 1学年は8クラス40名編成が基本。「共生教育」の考えに基づき、帰国生は各クラス均等になるように編成。
- 英語力の高い生徒に対しては、中学1・2年の週2時間、英語の授業においてネイティブ教員による少人数取り出し授業を実施。また、海外留学、海外進学を視野に入れた中高英語アドバンス講座を開校(課外)。
- 学習だけでなく、生徒が将来の目標や生き方を見出せるよう、担任や教科担当の教師との面談の他、帰国生にはグローバル教育部の教員が学習面・メンタル面で支援を行い、進路のサポート体制も万全。

入試情報

2024年度 帰国生入試概要(中学のみ)

帰国生入試: 2024年1月7日(日) 合格発表: 1月8日(月)

■ 募集人員: 30名

- 出願要件: ① 2018年4月1日から2024年3月31日までの間に通算2年以上海外に在住
② 2021年7月1日以降の帰国

■ 出願期間: 2023年12月1日(金)~15日(金) インターネット出願

■ 提出書類: 海外生活証明書・面接カード 2023年12月16日(土) 必着

■ 試験科目(点数): A方式 国語(120)・算数(120)・面接
B方式 国語(60)・算数(120)・英語(60)・面接



慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

https://www.sfc.keio.ac.jp/

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

小田急江ノ島線・相模いずみ野線・横浜市営地下鉄ブルーライン
「湘南台」駅下車、西口よりバス約15分
JR東海東横線「辻堂」駅下車、北口よりバス約25分
☎ +81-466-49-3628 ✉ apd-global@sfc.keio.ac.jp



未来型キャンパスで学ぶ「総合政策学部」「環境情報学部」

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)は、最先端技術と自然が共存する未来型キャンパスとして1990年に設立されました。

SFCでは総合政策学部・環境情報学部が一体となって「何が問題かを考え、解決法を創出する」教育を行い、未来を創る「先導者」としての力を養う教育を提供しています。

また、英語だけで学位のとれるGlobal Information and Governance Academic Program(GIGAプログラム)には受験形態・国籍を問わず誰でも参加でき、世界各地から来た多くの留学生と一緒に学ぶことができる国際色豊かなキャンパスでもあります。



SFCを英語で紹介するインタラクティブな動画を公開しました。こちらのインタラクティブ動画では、SFCのカリキュラムや学びの特徴、入試制度、学生の声や奨学金、寮の情報など、クリック/タップで志願者の興味にあわせて動画コンテンツを閲覧している新しい設計となっています。ぜひご覧ください!



GIGA
プログラム

総合政策学部 学部長 加茂 具樹



いま国際秩序が大きく流動しているように、秩序は変化します。現実の世界に存在する問いは変化するのであって、問題を解決するための「政策を考える」学問もまた、柔軟な変化を求められています。本学部では、現実の世界と向き合い、総合政策という学問を通じて、未来を見通す展望力、状況を捉える分析力、政策を設計する構想力、政策の意義を訴える説得力、政策を実施する実行力とともに、それらの力を総合する力を備えたグローバルに活躍する学生を育てます。

環境情報学部 学部長 一ノ瀬 友博



私たちの考える環境情報学は、「環境」と「情報」という言葉に留まらず、先端情報システム、エクス・デザイン、先端生命科学、環境デザイン、人間環境科学という5つの分野から構成されている学際的な学問分野です。環境情報学部は、先を見通せない時代を生き抜き、未来を創造する先導者を生み出します。

カリキュラム

多様な分野を自由に学び専門性を育む

- 既存の学問の枠にとらわれず、自由に履修可能なカリキュラム: 授業科目は学年別ではなく、必要な科目を基礎から応用まで選択可能。英語開講科目も多数。本人の能力次第で1年次から研究活動の中心である「研究会」へ参加できることも特徴の一つ。
- 他に類をみない多様な研究分野: 政策デザイン、社会イノベーション、国際戦略、経営・組織、都市・地域戦略、先端情報システム、先端領域デザイン、先端生命科学、環境デザイン、人間環境科学など。両学部合わせて年間が開講されているのは、1,000科目ほど。
- 充実した研究と学習支援体制: 教員が個々の学生の学習過程においてアドバイス・サポートをする「メンター制度」をはじめ、先端的な研究活動を行う「研究会」、学生を支援する教育奨励基金や各種奨学金制度も充実。
- 海外140の提携大学との交換留学制度: シンガポール国立大学(NUS)をはじめ世界のトップ大学で学ぶことも可能。

進路/就職実績

国内外の第一線で活躍、多くの起業家も輩出

SFCで培った問題解決能力や国際的なコミュニケーション能力を武器に、外資系や総合商社、国際機関などグローバルに活躍できる業種へ就職しています。また、社会の諸問題に取り組みたい、在学中から起業する学生もいます。

詳細: https://www.sfc.keio.ac.jp/campuslife/career.html



入試情報

多彩な個性に応えるための幅広い入試制度

- 一般入試
- AO入試*
- ※Admissions for the GIGA Program含む。
- 帰国生入試
- 留学生入試

最新の入試情報を必ずご確認ください。
* https://www.sfc.keio.ac.jp/admissions/undergraduate/



在学生より

幅広い分野を英日で学ぶ

総合政策学部 4年生(取材時) 井上 美佑さん



10年以上も日本から離れていたため、日本独特の組織と文化を学べる最後のチャンスと捉え、GIGAを選びました。さらに、GIGAでは国際(カロシア)でも受験でき、幅広い分野の講義を英語と日本語の双方で履修できる点が魅力的でした。研究会にも1年生から所属することができ、フィールドワークも行うことができます。湘南藤沢キャンパスは一言で言うと「都内から簡単にアクセスできる別世界」です。自然豊かで四季折々に変化し、尊敬できる教授と学生たちに囲まれて常に刺激を受けて視野も広がることができています。私自身は2つの研究会で「公共政策」と「AI進化」が「どのように環境問題を解決できるか」と言うテーマで研究しています。体育会にも所属しており、他学年・他学部の学生と関係を築いていく中で、授業だけでは得られないことを学んでいます。

将来は日本の魅力を正当な価値で世界に届けながら、未来の地球と子どもたちのために働き、さまざまなバックグラウンドを持つ友とともにも培った視座や人脈を生かしていきたいと思っています。



東京都立大学

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 京王相模原線「南大沢」駅より徒歩5分

☎+81-42-677-1111 (代表)

bioeg@biol.se.tmu.ac.jp (理学部生命科学科)

admission-tmu@jmi.tmu.ac.jp (アドミッション・センター)

https://globale.biol.se.tmu.ac.jp/ (理学部生命科学科英語課程)

https://www.tmu.ac.jp/english/study_at_tmu.html (東京都立大学)



ミクロからマクロまで 最先端の生命科学研究の力でグローバル課題の解決に挑む

東京都立大学は東京都設置する唯一の総合大学で2023年現在、教員数約650名、学生数約9,000名が在籍しています。「学問の力で、東京から世界の未来を拓く」をモットーに、多彩な基礎研究や応用研究、大都市課題研究を行っています。15年4月からグローバルに活躍する理系プロフェッショナルの育成を掲げ、「理学部生命科学科英語課程」を開発しました。日本人学生、留学生が共に参加できるプログラムで、これまでに多くの学生を国内外の大学院、企業に輩出しています。より多くの留学生を受け入れられるよう、24年度より秋入学制度を導入します。

生き物の不思議と一緒に探しましょう! Welcome! Let's explore questions in biology!

生命科学科長 春田 伸



本大学の生命科学科では、研究志向型の環境で学生教育に取り組んでいます。生物学の課題を自ら発見し、解決策を考え出すことができる機知に富んだ人材、人類と地球の未来に向けて新しい挑戦を続ける人材の育成を目指しています。私たちの研究活動や教育プログラムの詳細については是非、ウェブサイトをご覧ください。分子レベルから生態系レベルにわたる研究内容および教育への取り組みを知っていただくと幸いです。

The Department of Biological Sciences at Tokyo Metropolitan University is committed to mentoring students in a research-intensive environment. Our faculty aims to foster the development of resourceful persons who have the ability to identify and solve problems in biology, and can take on new challenges for the future betterment of humanity and the planet.

I hope that you will take some time to learn more about our research activities and education programs. We think that you will find that our department can offer many opportunities for ground-breaking discovery and a life-changing education from the molecular to ecosystem level.

Warm regards,
Shin Haruta
Professor and Department Head
Department of Biological Sciences

カリキュラム (理学部生命科学科英語課程)

英語で学ぶ「生物学」 世界標準の学びを日本のキャンパスで

- 授業は日・英の両言語で開講
開講される日本語の授業と同じ内容が英語でも開講され、日本語での授業と同様に単位認定を受けられます。英語だけで卒業に必要な全ての単位を取得することもできますし、日本語授業と英語授業を組み合わせることも可能です。
- 最先端の研究者が指導
生体分子・細胞から生態系、進化、環境まで幅広い生命現象を研究対象としています。実験、実習、フィールドワークを重視することで、「研究する力」とそのためのコミュニケーション能力が身につきます。
- 留学生や海外協定校から養われる多角的な視点
授業は「専門分野に特化した英語での寺子屋教育」。授業はほとんどが20人以下の少人数で、丁寧な指導が受けられます。数多くの海外協定大学との協働も活発に行い、豊富な国際体験により、多角的な視点が養われます。アクティブ・ラーニングを活用した深い学びが特色です。



進路 / 合格実績

2022年度卒業生の就職・進学率は95.9%、 専門スタッフの個別相談も実施

【進学】
東京都立大学大学院、東京大学大学院、
京都大学大学院、名古屋大学大学院、
大阪大学大学院 など

【就職】
国立科学博物館、
ヒューリッジコンサルティング、
ピーネックステクノロジー、
コスメテックスローランド、シミック、
キャン電子テクノロジー、東日本旅客鉄道、
三菱総合研究所、伊藤忠エネクス、
住友重機械工業、キュービー、ラサ商事、
グンゼ、富士ソフト、エヌ・ティ・ティ・データ・
フィナンシャル・ソリューションズ など



入試情報

2024年度より秋入学 (10月) も開始 理学部生命科学科では、 多様な入試を実施しています。

- 英語で受験が可能な入試
 - SAT/ACT-IB入試学生募集要項 (4月入学)
※IB DP取得者でなくとも、SAT/ACTのみでも受験可
 - 秋季入学入試 (10月入学)
- 入学金・授業料 (2023年4月時点)
入学金: 282,000円 / 授業料: 520,800円

最新の情報は入試課ウェブサイトをご参照ください。
授業料減免の制度もあります。



関東学院六浦中学校・高等学校

https://www.kgm.ed.jp/

〒236-8504 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

京浜急行「金沢八景」下車徒歩15分、
バス利用の場合、バス停「金沢八景」より東車
京浜急行バス「関東学院」に乗り、バス停「関東学院正門」下車
☎+81-45-781-2525 kgm@press@kanto-gakuin.ac.jp



「隣人愛」を育む人間教育

本校は設立以来、キリスト教の精神を基に社会に貢献する人の育成に取り組んでいます。世界のフラット化が進む中では、生きる世界を別次元にも広げることがこれまで以上に重要です。「グローバル教育」とは、お互いの国が平和的な共存をどのように果たすかを真に学ぶことです。自分を愛するように互いに尊重し合うことの重要性を日常的に考えていきます。

未来に備える教育

校長 黒畑 勝男



海外でのプレゼンスが大きい日本の企業はますます外国人採用を増やすでしょう。日本の子どもたちの国内外での働く場をいかに確保するか。今日の教育に求められることは「未来に生きる力」を育てることです。一方、隣人愛を深く理解し平和を創る人を育てることが大きな課題です。

本校は、変わらぬ真理に立ち、変わるものへの対応力をつけながら、未来に繋がる教育に邁進しています。本校に併設の寮は「小さな地球」がコンセプトです。多国籍・多文化の留学生がともに暮らし互いを理解し合う場で、学びの国際化を加速します。



カリキュラム

主体性を育み、未来に必要な資質と アカデミック・スキルを身につける

- 関東学院大学が隣接しているメリットを生かし、さまざまな分野で連携。「大学理科実験講座」では、中学生が大学の教授から直接指導を受け、大学での研究の最先端に触れる。
- 英語は「生きるための力」。Global English Teachers (GET) と Japanese English Teachers (JET) の総合的な指導で生きた英語を身につける。高い英語力を持つ生徒対象の取り出し授業も展開。また、IELTS講座、個人レッスンの講座も開講。
- 高等学校のGLE (Global Learning through English) は、「高い英語力」「日本語で書く力」「探究力」の3つに重点を置き、英語圏でも評価されるハイレベルな4技能獲得を目指す。「論理言語力」や「小論文」では、的確かつ論理的に伝える力を養う。
- DDP (Dual Diploma Program) は、卒業と同時にアメリカの高校卒業資格が認定される (受益者負担の) オプション・プログラム。通常カリキュラムとは別に、英語で行われる週6時間の学習に約2年間取り組む。海外大学進学がより身近になり、卒業後はアメリカの19大学の学部への推薦進学が可能。
- 中学の「地球市民講座」は本校独自の総合的な学習。「地球市民」としての素養を身につけ、高校での主体的な探究的な学びの時間で、地球規模の社会的課題への意識を深める。
- 「国際寮」を完備。関東学院大学が大学生向けに建てた寮で、コンセプトは「小さな地球」。海外からの帰国生や留学生、国内各所からの生徒が入寮し、多国籍・多文化の人たちが互いの文化を吸収し合う場となっている。

進路 / 合格実績

進路実現のための確かなサポートで夢を実現*

【国内大学】 東京大、東京医科歯科大、お茶の水女子大、
香川大 (医)、金沢美術工芸大、鹿屋体育大、九州大、信州大、
横浜国立大、横浜市立大、早稲田大、慶應義塾大、上智大、
東京理科大、国際基督教大、学習院大、明治大、青山学院大、立教大、
中央大、法政大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大、北里大、
芝浦工大、日本大、立命館アジア太平洋大、関東学院大学 など多数

【海外大学】 University of Manchester, University of Melbourne,
University of Liverpool, UNSW Sydney, King's College London,
RMIT University, Taylor's University, Monash University,
フロリダ国際大学、Arkansas State University、中原大学 (台湾)、
中国文化大学 (台湾) など多数

※過去5年間の実績

入試情報

2024年度 帰国生入試 ※オンラインでの実施可能

- 中学
試験日: 12月9日 (土)、1月13日 (土)
科目: 国語・算数・面接
- 高校
試験区分: A型: 日本人学校在籍者 B型: 現地校やインター校に在籍者
試験日: 10月より毎月第2、第4土曜日に実施
(2月は1回のみで17日が最終試験)
選考方法: A型: 書類審査・オンライン面接
B型: 基礎学力試験 (国・数・英) ・オンライン面接
出願基準: 【A型 (専願・併願)】
● 5教科合計15/25 または 9教科合計27/45
● 実用英語技能検定3級以上に合格しているか、
中学3年次の英語の評価が4以上
● GLEクラスを希望する場合には、準2級以上に合格
【B型 (専願・併願)】
● 日本の中学校に相当する課程の学業成績が良好
● 実用英語技能検定準2級以上に合格、
またはこれに準ずる英語力

編入は
随時相談
受け付け

在校生より

国際的な環境で刺激的な学校生活

高校1年 Y.Kさん

私は、小2から小6まで香港、小6から中3まではシンガポールで過ごしました。関東学院六浦高等学校を選んだ理由は、寮があり英語教育やグローバル教育に力を入れていること、そして関東学院大学や他大学への指定校推薦が豊富にあるからです。

入学当初は日本の生活が7年半ぶりだったため、海外の学校生活との違いになかなか慣れませんでした。しかしクラスや部活の仲間が助けてくれたので、今では楽しく過ごせることが出来ています。

外国人の先生方がたくさんいらっしゃり気軽に話していただけるので、英語力が維持できています。学校にはさまざまな国と地域から集まっている仲間が多く毎日がとても刺激的です。皆さんと一緒に楽しい学校生活を送りましょう。



桐朋女子中学校・高等学校

https://chuko.toho.ac.jp/

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
京王線「仙川」駅より徒歩5分
☎+81-3-3300-2232 (国際教育センター直通)
✉ kokusai@toho.ac.jp



帰国生受け入れ約60年の伝統校 帰国生が「あるがままの自分」でいられる学校

世界27ヵ国からの帰国生を含む多様な背景を持つ生徒たちが学ぶ本校は、グローバル時代に求められるスキルを育む多彩なプログラムを展開しています。特に「ことばの力」は全ての活動の土台になると考え、日・英両言語での「真のコミュニケーション能力」を着実に育みます。国際教育センターでは、帰国生の入学試験や転編入学の相談を受け入れ、入学後の学校生活のサポートも積極的に行っています。



帰国生受け入れ60年の伝統校として

校長 今野 淳一



中学・高校の6年間は、「大人として生きる姿勢」を形作る6年間です。本校には、帰国生に限らず、生徒一人ひとりの個性を尊重する環境があります。素の自分を否定されない環境があります。それが、帰国生が本校で「あるがままの自分」でいられることにつながります。深いところで互いを知るからこそ、一生の友だちができます。帰国生が培ってきた力と姿勢を更に引き出す教育を実践し、しっかりサポートする学校、それが桐朋女子です。

カリキュラム

海外で得たものを自信に変える6年間

- 「DLP(デュアル・ランゲージ・プログラム)」では、異文化の人にも自分の気持ちや考え方を的確に発信するために、日・英両言語で「ロジック」と「発信力」を身につけ、世界で通じる「論理的思考力」を育む。
- 「リソ講座」では、海外生活では学習しなかった内容を補う。日本に帰国したばかりの生徒が対象で、学習歴が異なる生徒のため、少人数で各自のニーズに合うように工夫。
- 放課後はもちろん、長期休暇にはアメリカでの海外研修やニュージーランドへの留学プログラムを実施するなど、高度な英語教育・異文化理解教育を展開。2023年度からは新たに「豪州・シンガポール研修」を開始予定。TOEFLやSATの試験対策も外国人専任講師が細かく指導。
- 入学試験では、英語1科型試験「Creative English入試」を導入。準備課題+インタビュー形式。4技能だけでなく、英語でコミュニケーションをとろうとする意欲や姿勢をみる。
- 本校は「海外協定大学推薦制度(UPAA)」加入校のため、高校3年生の前学期までの成績、学校の推薦で英米豪の有名大学の合格を手に、日本国内の大学との併願も可能で海外大学進学がより身近に。

進路/合格実績

2023年合格 ※全て併設合格

横浜国立大1名、鳥取大1名、早稲田大8名、慶應義塾大4名、上智大6名、東京理科大4名、明治大11名、青山学院大8名、立教大19名、中央大9名、法政大9名、学習院大2名、国際基督教大1名、北里大7名、東京女子大11名、日本女子大11名、津田塾大4名、武蔵野美術大3名、多摩美術大2名、他

入試情報

2024年度帰国生対象入試 本校にて実施

- 中学
第1回 12月3日(日) 第2回 2024年1月22日(月)
試験内容: 外国語(英語、フランス語、ドイツ語のいずれか)による作文、面接(受験者のみ、日本語)
- 高校
1月22日(月) 推薦入試A、B
※推薦入試A(現校校・国際校出身者用)、B(全日制日本入学校出身者用)
試験内容: 面接(受験者のみ)
1月22日(月) A選考(外国語による作文)
試験内容: 外国語(英語、フランス語、ドイツ語のいずれか)による作文、面接(受験者のみ、日本語)
2月10日(土) B選考(筆記試験型)
試験内容: 筆記試験(国語・数学・英語)、面接(受験者のみ、日本語)

転入学・編入学試験(1月・4月入学) 本校にて実施

12月3日(日)、2024年3月2日(土)
募集学年: (1月)中1~高2 (4月)新中2・3、新高2・3

卒業生より

生涯に渡り生かせる力を身につけた6年間

上智大学外国語学部英語学科1年 K.S. さん

レポートやプレゼンテーションが毎日のように課される大学生活では、桐朋女子での学びが大いに役立っています。桐朋女子では、多岐にわたるテーマのレポート課題やプレゼンテーションの機会が数多くあり、日常的にアクティブラーニングを行い「自分で深く考える」ことが習慣になっていました。6年間という時間をかけて磨きあげたこの力のおかげで、大学では自信を持って取り組むことができている。さらに、学業だけでなく部活動や生徒会活動などへの挑戦も、多忙ながらも充実した日々で、机上だけでは身につかない「諦めない精神」や「協調性」を身につけてくれました。社会を生き抜いていくうえで欠かせないこれらの財産をこれからも大切にしたいと思っています。



啓明学院中学校・高等学校

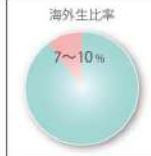
www.keimei.ed.jp

〒654-0131 神戸市須磨区榎尾9丁目5-1
神戸市営地下鉄「砂辺寺」駅よりバス3分、徒歩12分
JR「須磨」駅、山陽須磨駅よりバス20分
☎+81-78-741-1501 ☎ウェブサイト「お問い合わせ」からご連絡ください



「キリスト教主義による全人教育」で自学自習の精神を育む

本学院は「キリスト教主義による全人教育」を教育理念とし、将来必要となる基礎学力や知的好奇心を育む教育を行います。他者を尊重しながら協働する力を高め、困難な課題にも粘り強く挑戦する人間へと導きます。約9割の生徒が関西学院大学へ推薦進学する継続校の利点を生かし、生涯学び続ける自学自習の精神を育みます。



世界へ踏み出す学びを

校長 指宿 力



海外生の皆さんは、自分を理解してもらえなかった経験や世界の多様性をすでに体験しているでしょう。その過程で育まれたコミュニケーションスキルやバイタリティは、皆さんならではの魅力です。本校には海外生が1割ほど在籍しており、グローバルな学びの中核を担っていますので安心して自分の経験や力を発揮できます。皆さんも一緒に世界へ踏み出す学びをしましょう。

カリキュラム

- 各学年1クラス約40名×中学4クラス 高校6クラス
- 世界や社会を身近に感じる多様な取り組みや、理数に力を入れたリベラルアーツ型のカリキュラムを展開。また、5日間、無人島で共同生活をする中学2年生のキャンプに紐付きリダとして参加機会あり。本校教育は、一人ひとりの個性と創造力、リーダーシップを伸ばす。
- 教員一人につき数十名の生徒が配属されるゼミ形式の「学術研究II・III」では、文献を深く読み込む力や比較検討する力を養い、レポート作成やプレゼンテーションスキルを習得。
- 土曜日に多彩な教養講座を開講。中学では情報、SDGs、起業体験など、高校では語学、法律・政治、芸術、セーリングなど50を超える講座から選択受講。
- 中学では一定以上の英語力を有する生徒対象のアドバンスドクラスを開講。



入試情報

2024年度 海外帰国生入試概要(中学入試・中学編入・高校入試)
試験日: 2023年11月19日(日) 合格発表: 2023年12月1日(金)
試験会場: Holiday Inn Singapore Orchard City Centre 募集人数: 若干名
出願資格: 現在海外に在留し、海外の日本人学校・インターナショナル校・現地校のいずれかに2024年3月末時点で2年以上在籍していること。
出願期間: 2023年10月9日(月)~11月6日(月) 必着
※本校ウェブサイトにて募集要項と出願書類を掲載しています。



逗子開成中学校・高等学校

https://www.zushi-kaisei.ac.jp

〒249-8510 神奈川県逗子市新宿2-5-1
JR横須賀線「逗子」駅、京浜東北線「逗子葉山」駅より徒歩約10分
☎+81-46-871-2062
☎ウェブサイト「お問い合わせ」からご連絡ください



目の前の「海」を通して、 自分と世界を学ぶ

1903年創立以来、「海」を活用した教育を行っています。ヨットや遠泳などの実践・経験からの学びと、大学や専門機関と連携したより深い講義が、生徒を大きく成長させます。

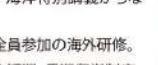


VRツアーはこちら

カリキュラム

帰国生と一般生が同じ環境で互いにチャレンジ

- 「海洋人間学」はヨット航海と製作・遠泳・海洋特別講義からなる教科を超えたプログラム。
- 中3「NZ研修」、高2「アジア研究旅行」は全員参加の海外研修。
- カナダ・アメリカ・イギリスなどへの研修や短期・長期留学制度、海外大学進学サポートの他、多彩な国際交流プログラム。
- 知的好奇心を育む100講座以上の「土曜講座」。
- 徳間記念ホールでの「映画鑑賞」で豊かな感性を磨く。



VRツアーはこちら

多彩なプログラムで時代を切り拓く力を

校長 小和田 亜士

本校の原点は、校名の由来である「開物成務(人間性を開拓・啓発し、人としての務めを成す)」にあります。本校の生徒は、多彩な授業やプログラムを通してさまざまなことにチャレンジし、失敗や成功を繰り返しながら変化に対応して時代を切り拓く力を身につけていきます。そして在学中に学んだ知恵と勇気を持って、未知の世界、新しい時代という大海原へと漕ぎ出していくことでしょう。



VRツアーはこちら

入試情報

帰国生入試及び編入試験
■ 2024年度帰国生入試 試験日: 2023年12月26日(火)
(A) 国語・算数 または (B) 英語・算数
■ 2024年度4月編入試験 試験日: 2024年3月13日(水)
募集学年: 新中学2・3年、新高2・2年





清泉女学院中学高等学校

https://www.seisen-h.ed.jp/

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻 200
JR東海道線・横浜線「大船」駅より徒歩約5分
☎ +81-467-46-3171
✉ entrada@seisen-h.ed.jp



世界に50の姉妹校を持つカトリック校

「平和の種をまく人」を育成するために、理念を同じくする世界各国の50校の姉妹校とともに、多様な学びを実践しています。キャンパスは湘南の小高い丘の上に位置し、自然環境にも恵まれています。

カリキュラム

「知性」と「心」を育てる 4つのスペシャルプログラムを展開

- **ライフオリエンテーションプログラム**
中1から高3の6年間一貫して、体験型の「心の教育」を行う。
- **グローバルプログラム**
地球市民としての責任と自覚を促し、持続可能な社会をつくり上げていく使命感とスキルを身につけるため、教科を越えた多様な学びを実践する。
- **ライフナビゲーションプログラム**
具体的に未来を思い描き、将来の目標を明確化するため、大学の授業体験や職場見学、社会人の講演などを通して社会との接点を経験させる。
- **サイエンス・ICTプログラム**
洞察力と思考力を育む野外学習や実験観察授業を行い、科学技術をスキルとして身につけたため、ICTを活用した協働学習を行う。



入試情報

2024年度 帰国生入試および オンライン帰国生入試【中学】

- 帰国生1期試験: 12月9日(土) ■ 帰国生2期試験: 2024年1月6日(土)
- A方式: 作文(日本語)・算数・面接 B方式: 作文(日本語)・英語・面接(英語)
- 海外在住者専用オンライン帰国生入試: 12月1日(金)
- ※帰国生試験1期・2期ともに帰国できない方が対象です。
- A方式: 国語・算数
B方式: 国語の口述試験・英語による面接試験

チャレンジャーであれ

校長 小川幸子



ここ数年で中高生をとりまく状況は大きく変わりました。高校三年生の時に多くの生徒は18歳を迎え成人となります。自分たちの判断でできることが増えると同時に責任も重くなります。中高時代に自ら学びを深め、行動を起こす経験をするのとならないのでは、将来に大きな差がつかます。これからの時代を生き抜いていくため、清泉では、生徒が自分で考え、チャレンジする機会を積極的に提供しています。



立命館宇治中学校・高等学校

https://www.ritsumei.ac.jp/uji/

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33番1
近鉄京都線「大久保」駅、京奈良線「新田」駅より徒歩約10分
☎ +81-774-41-3000
✉ uji-returnee@ujc.ritsumei.ac.jp



学んだ分だけ、世界が近くなる Your Link to the World



本校は、国際型中高一貫校として、多彩なプログラムを展開しています。関西で初めて一条校(学校教育法第一条における「学校」)として国際バカロレア(IB)校に認定されるなど、わが国の国際教育を先導してきました。国際的な取り組みが日常にあふれるなか、帰国生が安心して日本の教育に順応し、海外で培った語学力や国際感覚、そして学力をさらに磨ける環境を整えています。



カリキュラム

- **中学校・IPコース**
将来、本校のIBコースに進学することを目指す中学生が対象。言語運用能力はもちろん、セルフマネジメント、クリティカルシンキング、リサーチスキル、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキルなどを醸成。
- **高校・多様性あふれるコース選択**
IBディプロマと高校卒業資格の両方の取得を目指す「IBコース」、1年間の留学と帰国後のイメージ授業を実施する「IMコース」、大学附属の強みを生かし、文理の枠を超え、自らのキャリアに応じて学ぶ「IGコース」。
- **帰国生に応じた学習支援(中学ICコース、高校IGコース)**
中学では英語のグレード別授業に加え、入学後1年間国語・社会・数学・理科の放課後補習授業を実施。高校では1年次に国語・社会・数学をそれぞれの習熟度に応じたクラスで学ぶことが可能。

世界で輝く未来の君を見つけよう

校長 越智 規子



本校は、グローバル化の進む世界において、高い志とチャレンジ精神を持った人、責任感を持って行動できる人を育てたいと考えています。これらは教科書での学習に加えて、学校でのさまざまな活動でリーダーシップをとることを通して得られるものです。そのような人格形成において、本校は理想的な場所といえるでしょう。巣立った生徒たちが世界の舞台で活躍する未来を見据えて、多彩で豊かな授業・教育プログラムを用意してみなさんをお待ちしています。

入試情報

2024年度 国際(帰国生徒・外国籍生徒) 入学試験

- 中学 11月25日(土) 本校・上海・シンガポール・フランクフルト・NY
1月13日(土) 本校
 - 高校 11月25日(土) 本校・上海・シンガポール・フランクフルト・NY
2月10日(土) 本校
- ※11月25日の入試を海外会場で受験する場合、面接はオンラインにて11月19日(日)に実施します。両日の出席が必要です。



富士見丘中学高等学校

http://www.fujimigaoka.ac.jp

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 3-19-9
京王線笹塚駅より徒歩5分
☎ +81-3-3376-1481
✉ info-mail@fujimigaoka.ac.jp



多様な価値観・個性を生かすグローバル教育推進校

1940年の創立以来「国際性豊かな若き淑女の育成」を教育目標に掲げ、先進的な英語教育・国際理解教育に取り組んできました。文部科学省から、2015年度にSGH(スーパーグローバルハイスクール)、2020年度からWWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム拠点校の指定を受け、先進的な英語教育とICTを活用した探究学習を実践しています。イギリス・オーストラリア・カナダの7つの姉妹校へのタム留学制度など、海外との交流も活発です。



グローバル社会で活躍するために

校長 吉田 晋



帰国生のみなさんは、若い時代に異文化を肌で体験し、一人ひとりが貴重な経験をしています。しかし海外で培った経験や英語力も、それを生かす教育環境がなければ将来のためにそのアドバンテージを伸ばしていくことができません。帰国生専門の学習サポート室、英語取り出し授業など、多様な学習機会をもつ帰国生を受け入れる体制を整えた本校では、多くの帰国生が生き生きと学んでいます。グローバル社会で活躍する力を育てていくのが富士見丘学園の使命です。

カリキュラム

帰国生の力を生かす学習環境

- 中・高ともにネイティブ教員が指導する英語上級プログラムを実施。海外の現地校・国際校と同レベルの英語の授業を提供。
- 高大連携で実施する「グローバルスタディ基礎・演習」では、グローバルな社会課題を探究し、国内外のフィールドワーク、英語プレゼンテーションを実施する。
- 各学年に学習サポート担当を置き、「日本語キャッチアップ講座」で漢字・理科・社会などの日本語学習をフォロー。



入試情報

海外生特別入試(シンガポール会場)

- 2023年11月4日(土) 中学入試・高校入試・転編入試験
- 帰国生入試
- 中学: ① 2023年11月11日(土) ② 2024年1月16日(火)
- 高校: ① 2023年12月 7日(木) ② 2024年1月16日(火)